

なかの まつがおか

(題字 一樹 和彦)

第39号

12月20日
2018年(平成30年)
発行：松が丘片山町会
編集：広報部

本紙は松が丘片山町会
のホームページからも
ご覧いただけます。



毎年秋に長寿クラブと町会の共催で行われている

「日帰り親睦旅行」が、今年10月13日(土)に「世界遺産 富岡製糸場&こんにやくパークin群馬」に行ってきました。

世界遺産 富岡製糸場&こんにやくパークin群馬

秋の日帰り親睦旅行

参加者は大人31名。例年より若干ゆったりしたバス旅行となりました。幸い天候に恵まれ、「道の駅ららん藤岡」、「高崎ハム工場」で買い物を楽しみ、「食亭つかさ」で上州名物おつ切り込み鍋等の和食膳の昼食を取りました。午後は、今回のメインとなる世界遺産「富岡製糸場」を訪れました。

地元ガイドの方から、明治5年建設時から日本の繊維工業発展の歴史を聞きながら、創業当時から残る建造物や製糸機械を見学し



その後、群馬の名産こんにやくのテーマパーク「コンニャクパーク」でいろいろなこんにやく料理を試食、買い物をし、帰路につきま



赤十字自主防災セミナー

11月3日、片山会館で、町会主催の赤十字自主防災セミナーが行われました。今回の防災セミナーは、日本赤十字東京都支部が推進している居住地域の地縁団体においての自主防災セミナー事業に、当町会が賛同し、開催したものです。



当日は、講師に日本赤十字東京都支部の越後氏をお迎えし、災害発生時での外傷の応急手当と搬送の方法を講義と実技で学びました。特に車輪付き担架を使ったの実習では、実際に参加者に乗ってもらい、集団搬送に乗ってもらい、集団搬送

実技で使った、車輪付き担架およびジュラルミンケース入りセルフケアセットは、セミナー終了後、日本赤十字東京都支部より当町会に寄贈され、片山会館で災害時の備品として保管する事になりました。



1月以降の行事

- ◇平成31年
- ◆1月
- 14日 新年福祉もちつき大会
- 27日 町会新年会
- ◆2月
- 3日 文化部行事
- 17日 人形劇
- ◆3月
- 9日 町会・自治会対抗レスキュー大会



新規町会員を募集中です

松が丘片山町会では住んでいる人々がお互いに挨拶し合う、安全で安心なまちづくりを目指して、さまざまな活動を行っています。現在町会に加入されているのは、松が丘地区2994世帯の40%弱です。ぜひ町会に加入して、松が丘山ふるさとライフをお楽しみください。町会費はご家族単位で月額200円です。お問い合わせは町会長、山田晃 (TEL03-3386-2956) まで。

焼して♪焼いて♪食べて♪飲んで♪遊んで♪

松が丘デイキャンプ

10月28日、荒天のため延期となった青年部主催の松が丘デイキャンプが、松が丘北野神社境内で開催されました。

11時の受付開始後、青年部長代行の川合通裕さんの挨拶で開会。

会費500円で用意されたのは、ホットドック、ポテトチップとポップコーン



の燻製、すいとん、キャベツと塩昆布の和え物。

燻製など。飲み物は、無料の麦茶のほか、300円



別途100円〜300円で販売されたのが、やきとり、クラッカー付きのツナ缶燻製やカマンベールチーズ



境内一杯に秋の行楽を榮しむ賑やかな笑い声が響きわたりました。

400円で生ビールやハイボール、サンクリアが販売されました。

会場には108名の方が訪れ、後半には希望者で片山トリビアクイズ

に挑戦しました。



立川寸志落語会

11月11日(日)片山会館で、文化部主催の「立川寸志落語会」が開催されました。

当日はお若い方からご年配まで、幅広い年代の方30数名がご参集くださいました。

落語に先駆け、町内にお住まいの謎のマジシャンミスターゴールドによる、新ネタ満載の爆笑マジック

ショーが披露されました。しゃく」。その後、お囃子にのって

二つ目立川寸志さんの登場。最初の演目は「片棒(かたぼう)」。

吝嗇(りんしょく)ケチ)と張り扇で釈台を叩きながら、軍記物などを節を付けながら語る芸能)の場面では、その見事さに思わず会場から大喝采が上がりまし

とナンセンスさを持った噺に、会場は大うけでした。次の演目は、講師が主人公の「鮫講釈(さめこう

演目後、立川寸志さんの



オリジナル手ぬぐいと色紙をかけたじゃんけんゲームを行い、大いに盛り上がりました。

今回ご出演くださった立川寸志さんは、出版社勤務を経て44歳で立川談四楼師

匠に入門された異色の経歴をお持ちの噺家で、キャッチコピーは「遅れて来た落語少年」。

最後は、立川寸志さんと参加者全員が記念写真に収まり、親しみやすく気さくなお人柄に、参加者